

〔科目名〕 経営戦略論Ⅱ	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 専門科目 基幹科目
〔担当者〕 金崎 賢希 かねざき まさき	〔オフィス・アワー〕 時間: 講義初回に提示します 場所: 619研究室	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 経営戦略論Ⅰでは、皆さんが日々目にしているもの(企業が提供している製品やサービス)から話を始めました。普段私たちが接している製品やサービスが、企業のどのような判断、戦略的意図から生まれているのか、形作られているのかを検討してきました。 経営戦略論Ⅱでも、引き続き、企業がどのような戦略的思考から、どのような製品やサービスを提供するに至ったのか、(そのために企業の人々がどのような仕事をしているのか)を理解してほしいと考えています。 経営戦略論Ⅱでは、Ⅰでの議論をより広い視点から検討します。すなわち、業界の構造分析、全社戦略、そして、事業とドメインの定義へと話を展開していきます。合わせて、企業の国際化、社会責任、事業の再構築といった経営戦略の新しい展開についても検討します。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・「なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか」 ●他の科目との関連付け 組織は、研究開発、生産管理、マーケティング、サービス、法務、財務管理、人事労務、情報管理など、さまざまな活動から構成されます。それぞれの役割をきちんと理解したうえで戦略を構築する、あるいは戦略を実行するために調整する必要があります。また、組織はそれを取りまく外部環境の影響を強く受けます。その意味で国や地域の政治経済・社会文化(とくに国際化する場合、外国の政治経済・社会文化)を理解しなければいけません。したがって、戦略の形成と実行に関わる、組織内外する関連する科目について、今後も勉強していく必要があります。 ●学んだことが何に結びつくか 組織は営利企業だけのものではありません。この講義で取り上げるのは、主に企業ですが、経営戦略は非営利組織や地方自治体の運営に関心をもっている学生も役立つでしょう。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 ① 業界の構造分析 (以下、経営戦略論Ⅱ) ② 企業の内部分析 ③ 成長戦略および多角化戦略 ④ プロダクトポートフォリオ・マネジメント ⑤ 事業とドメインの定義 ⑥ 企業の国際化 ⑦ 戦略の社会的側面 ⑧ 事業の再構築 以上の点について学び、理解を深めることを目標とします。 講義では、通常の講義スタイル形式のほか、ケースメソッドの手法(マネジャーになったつもりで、実際に企業が直面する問題を解いていく講義手法)も用います。これにより、理論と実践の橋渡しをしていきます。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 学生からの授業の質・理解度への評価は良好でしたので、用いるケースなどブラッシュアップしたいと思います。学生にとって身近な問題となるよう、できるだけ事例を紹介したり、映像資料と併用して理解度・関心を高めていきたいと考えています。		
〔教科書〕 ・沼上幹『わかりやすいマーケティング戦略』(新版、有斐閣、2008年。(経営戦略論Ⅰと同じ) ・その他、教員が用意したプリントを配布します。		
〔指定図書〕 教科書には指定しませんが、授業で参照します。図書館の指定図書コーナーに置いてありますので、目を通してください。 ・デービッド・A・アーカー『戦略立案ハンドブック』東洋経済新報社、2002年。 ・網倉久永・新宅純二郎『マネジメント・テキスト 経営戦略入門』日本経済新聞社、2011年。 ・沼上幹『ゼロからの経営戦略』ミネルヴァ書房、2016年。		
〔参考書〕 (上記以外に自習で読んでほしい本。1冊でもよいので、自分に合う本を選んでください) ・石井淳蔵他『経営戦略論』有斐閣、1985年。(だいぶ前に出版されたものですが、非常に良い本です)		

・デビッド・J・コリス、シンシア・A・モンゴメリー 『資源ベースの経営戦略論』 東洋経済新報社、2004年。 ・石井淳蔵他 『ゼミナール マーケティング入門』、2004年。 ・宮崎正也 『コア・テキスト 事業戦略』 新世社、2011年。 ・ジョアン・マグレッタ 『マイケル・ポーターの競争戦略』 早川書房、2012年。 ・青島矢一、加藤俊彦 『競争戦略論』(第2版)、東洋経済新報社、2012年。 ・楠木健 『ストーリーとしての競争戦略 優れた戦略の条件』、東洋経済新報社、2012年。 ・シンシア・モンゴメリー 『ハーバート戦略教室』 文藝春秋、2014年。 ・和田充夫他 『マーケティング戦略』(第5版) 有斐閣、2016年。 ・大滝精一他 『経営戦略－論理性・創造性・社会性の追求－』(第3版) 有斐閣、2016年。	
〔前提科目〕 1年次における経営学、経済学、会計学科目の単位を履修・取得していることが望ましい。	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 期末テスト(70%)＋授業内提出物(30%)をもとに評価を行います。 ●期末テストについて ・期末テストは、マークシート＋短答(短文、単語)記述形式です。 ●授業内提出物について ・授業への出席・参加・理解度を見るためのものです。 ・内容は授業に関するケースを解くもの等です。 ・回数は3回程度を予定しています。1回につき、10点満点で点数をつけます。	
〔評価の基準及びスケール〕 上記の方法で評価を行います。点数と評価の関係は以下の通りです。 A:100～80、B:79～70、C:69～60、D:59～50、F:49～ 0	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 大学4年間で、「自主的に進んで勉強する学生」と「そうでない学生」との間に大きな差が出ます。ぜひ自主的に上に掲げた指定図書や参考書、経営者の自叙伝や新聞雑誌を読んでください。教科書は 1 つしか指定していませんが、適宜指定図書も参照してください。 スマートフォンの操作やおしゃべりなど、講義に関係のないことをしている場合、退出していただきます。	
〔実務経歴〕 該当なし	
授 業 ス ケ ジ ュ ー ル	
第1回	テーマ(何を学ぶか)： 業界の構造分析(1) 内 容： 業界の構造分析 について 理論的検討 教科書第5章および配布資料
第2回	テーマ(何を学ぶか)： 業界の構造分析(2) 内 容： 業界の構造分析 について イケアなどの事例 教科書第5章および配布資料
第3回	テーマ(何を学ぶか)： 企業の内部分析(1) 内 容： システムに基づく企業観 について 理論的検討およびアスクルなどの事例 配布資料および授業中に指示
第4回	テーマ(何を学ぶか)： 企業の内部分析(2)システムに基づく企業観と資源に基づく企業観 内 容： 資源に基づく企業観 について 理論的検討および富士フィルムなどの事例 配布資料および授業中に指示
第5回	テーマ(何を学ぶか)： 成長戦略(1) 内 容： 市場浸透、製品拡張、市場拡大 について 理論的検討 配布資料および授業中に指示

第6回	テーマ(何を学ぶか):成長戦略(2) 内 容: 市場浸透、製品拡張、市場拡大について にんべんなどの事例 配布資料および授業中に指示
第7回	テーマ(何を学ぶか):多角化戦略(1) 内 容: 多角化戦略について 理論的検討およびカメラメーカーなどの事例 教科書第6章および配布資料
第8回	テーマ(何を学ぶか):多角化戦略(2) 内 容: ポートフォリオ・マネジメントについて 理論的検討およびネスレなどの事例 教科書第6章および配布資料
第9回	テーマ(何を学ぶか):事業の定義とドメイン 内 容: 事業領域、ドメインについて 理論的検討およびNECなどの事例 教科書第7章および配布資料
第10回	テーマ(何を学ぶか): 国際化戦略(1) 内 容: 国際化戦略について 理論的検討 配布資料および授業中に指示
第11回	テーマ(何を学ぶか): 国際化戦略(2) 内 容: 国際化戦略について 味の素などの事例 配布資料および授業中に指示
第12回	テーマ(何を学ぶか):戦略の社会的側面(1) 内 容: 企業の社会的責任について 理論的検討 配布資料および授業中に指示
第13回	テーマ(何を学ぶか):戦略の社会的側面(2) 内 容: 企業の社会的責任について パタゴニアなどの事例 配布資料および授業中に指示
第14回	テーマ(何を学ぶか):企業の変革(1) 内 容: 事業の再構築と組織の変革について 理論的検討 配布資料および授業中に指示
第15回	テーマ(何を学ぶか):企業の変革(2) 内 容: 事業の再構築と組織の変革について コマツなどの事例 配布資料および授業中に指示
試験	